

第一條 本組合ハ東京合同労働組合ト稱ス
第二條 本組合ハ日本労働組合評議會ニ加盟シ、其宣言、綱領及ビ決議ノ遂行ニ努メ東京地方ニ於ケル産業別労働組合組織ノ完成ヲ助成スル事ヲ以テ目的トス

第二章 組織

第三條 本組合ハ東京地方ニ於ケル各種産業ニ従事スル労働者ヲ以テ組織ス

第四條 本組合ニ加入シセントスル者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ加入金貳拾錢ヲ添ヘテ加入希望者ノ勤務スル工場所在地ヲ統轄スル支部ニ申込ムモノトス

第五條 支部ハ加入希望者ノ申込ミニ對シテ規定ノ條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ審査シ其加入ヲ許可スルモノトス

第六條 本組合ハ其理由ヲ明記シテ所屬支部ニ申出ヅベシ

第七條 支部ハ其理由正當ナリト認メタル時ハ本組合トノ關係ヲ離脱スル手續ヲ了シテ脱退ヲ許可スルモノトス

第八條 本組合員ニシテ左ノ條項ニ該當スルモノハ大會、理事會ノ出席代議員又ハ理事三分ノ二以上ノ決議ヲ以テ除名スルコトヲ得

一、組合費三ヶ月以上ノ滞納者
二、規約及決議ニ違反シタルモノ
三、組合ノ統制ヲ紊ルモノ

第九條 本組合ニ屬スル組合員ハ其勤務スル工場又ハ住所ヲ中心トシテ姓名以上ヲ集結シ得ル場合ハ一支部ヲ組織スルコトヲ得

同一工場ニ二十五名以上ノ組合員ヲ有スル場合ハ工場分會ヲ組織シ、分會ニツツ以上ヲ以テ支部ヲ構成ス、支部ハ本規約ヲ遵守シ本部ノ統制ニ從フモノトス

第三章 機關

第一節 大會

第十條 大會ハ本組合ノ最高決議機關ニシテ各支部ニ於テ組合員廿名ニツキ一名、端數十名以上ニ達シタル場合一名ノ割合ヲ以テ選出シタル代議員ヲ以テ構成スルモノトス

代議員ノ選出方法ハ各支部ニ於テ之ヲ定メ其資格ヲ證明スル信任狀ヲ大會ニ提出スルモノトス

第十一條 執行委員會、專門部長及支部長ハ大會ニ參與スルコトヲ得、但シ決議權ヲ有セズ

第十二條 大會ハ毎年一回定期ニ開催シ會長之ヲ召集ス但シ理事會之ヲ必要ト認メタル時、又ハ組合員三分ノ一以上ノ請求アリタル時ハ臨時大會ヲ開催スルモノトス

第十三條 大會ハ代議員三分ノ二以上出席スルニ非レバ成立セズ

第十四條 大會ニ必要ナル事項ハ大會開催前ノ理事會ニ於テ之ヲ定ム

第二節 理事會

第十五條 理事會ハ大會ヨリ次ノ大會迄ノ決議機關ニシテ毎月一回定期ニ之ヲ開催シ會長之ヲ召集ス

但シ執行委員會之ヲ必要ト認メタル時又ハ理事三分ノ一以上ノ請求アリタル時ハ緊急理事會ヲ開催スルモノトス

第十六條 理事會ハ左ノ比率ヲ以テ各支部ヨリ選バレタル理事ヲ以テ構成ス

一、五十名未満三名、二、五十名以上百名迄四名

理事ノ選出方法ハ各支部ニ於テ之ヲ定メ選出後會長ニ届ケ出ヅベシ

第二節 執行委員會

第十七條 執行委員會ハ大會ニ於テ選出シタル執行委員七名ヲ以テ構成シ連帶責任ヲ以テ大會及理事會ノ決議ヲ執行ス

緊急必要アル場合ハ大會又ハ理事會ノ決議ヲ俟タズシテ緊急ノ處置ヲ爲ス事ヲ得

但シ大會又ハ理事會ノ事後承認ヲ經ル事ヲ要ス

第十八條 執行委員ハ必要ニ應ジ執行委員長之ヲ召集スル細則ニ從ヒ執行委員會ノ下ニ會務ヲ分擔處理スルモノトス

第十九條 專門部規則ハ理事會之ヲ定ム

第二十條 專門部ハ左ノ八部門ニ分ツ

一、部組織 二、學務部 三、政治部 四、教育部 五、出版部 六、調査部 七、會計部 八、婦人部

第二十一條 專門部ニ關スル事務執行ノ責任ハ執行委員會之ヲ負フモノトス

第四章 役員

第二十二條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長一名 二、執行委員長一名 三、會計監査役三名 四、書記一名

第二十三條 會長ハ大會ニ於テ選出シ大會及理事會ノ議長ニシテ本組合ヲ代表ス

第二十四條 執行委員長ハ執行委員會ニ於テ互選シ執行機關ヲ代表ス

第二十五條 會計監査役ハ大會ニ於テ選舉シ本組合ノ財産及會計監査ヲナスモノトス

第二十六條 書記ハ執行委員會之ヲ任命シ事務ノ執行ヲ補助スルモノトス

第二十七條 役員ノ任期ハ大會ヨリ大會迄トス

但シ再任ヲ妨ゲズ

第二十八條 役員ニシテ缺員ヲ生ジタル場合ハ理事會ニ於テ之ヲ選出補充スルモノトス

第五章 會計

第二十九條 組合費ハ成年男子五十錢、婦人及幼年ハ卅錢トス、組合費ノ使途ハ左ノ通りトス

一、支部費 拾錢 二、本部費 四拾錢

但シ日本労働組合評議會及ヒ關東地方評議會會費ハ本部費中ヨリ支出スルモノトス

第三十條 組合費ヲ以テ本組合ノ經費ヲ償フ能ハザル時ハ理事會ノ決議ヲ經テ臨時費トシテ各支部ヨリ徵集スルコトヲ得

第三十一條 本組合ノ收支ハ毎年大會ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第三十二條 本組合ノ會計ハ毎年大會前一ヶ月ヲ以テ會計年度トス

第六章 附則

第三十三條 本組合ノ本部ヲ東京市内ニ置ク

第三十四條 本組合規約ハ大會出席代議員總數三分ノ二以上ノ賛成ヲ得ルニ非レバ變更スル事ヲ得ズ

第三十五條 本組合ノ議事ハ特別ノ規定ナキ限り過半数ヲ以テ決シ可同數ナル時ハ議長之ヲ定ム

第三十六條 本規約ハ大正十四年四月廿日ヨリ實施ス